同窓会報
千南原
第12号
昭和62年12月25日発行
編集・発行
藤枝市天王町1丁目7-1
静岡県立藤枝東高等学校
同窓会事務局

会長に伊村隆恵氏再選

――六十二年度同窓会役員総会――

昭和六十二年七月四日（土）十五時より本年度同窓会役員総会が母校同窓会館で開催されました。

当日の出席者五十一名。関東支部より山田（11回）中原（15回）両氏も遠路ご出席され盛会でした。

伊村会長・松永前会長・森校長の挨拶に引き続き議事に移りました。

◆第一号議案
昭和六十一年度一般・特別会計の決算の承認・石田会計監査より監査報告

◆第二号議案
本部役員の任期満了に伴う役員改選の件
昭和五十八年度に前会長松永臻氏の後任として第五代同窓会長に伊村隆恵氏が就任。新たに副会長に曽根・岩田・井田氏が選任され現在の陣容で運営されました。

爾来三年を経過し、今回任期満了に伴い辞任の表示があり、海野事務局長より経過説明・提案がなされ、松永相談役の補足説明の後、総会において留任の要請があり現本部役員全員が再選されました。

同窓会本部役員（敬称略）

会長	伊村隆恵	（6回）
副会長	宮崎啓之進	（9回）
〃	曽根雄一	（12回）
〃	岩田　規	（15回）
〃	橋本　守	（17回）
〃	大石鉄郎	（26回）
〃	井田久義	（28回）
相談役	松永　臻	（3回）
会計監査	岩崎正雄	（12回）
〃	石田哲夫	（27回）

◆第三号議案
昭和六十二年度一般・特別会計予算承認に関する件
特に本年度の事業として同窓会館の雨漏りのため屋根の修復工事として一般会計より一〇〇万円を計上。

◆その他
1. 会員名簿発行の件
前回、会員名簿は創立六十周年記念を期して発行され、その際五年毎に改訂発行することが望ましいとの判断にたって今年度発行することに決めた経緯を会長より説明提案し、各役員の協力をお願いする。このあと事務局より今後の予定について説明。

2. 新役員の承認
○吉田平一氏（6回）
○杉本春雄氏（13回）
○小林宏司氏（34回）
○川西　肇氏（〃）
○秋山直己氏（60回）
○鈴木康仁氏（〃）
島田支部役員
○秋山光徳氏（17回）
○虎岩樹三氏（24回）

なお四十一回～五十七回までの役員が欠けているため是非ご推薦下さい。

議事終了後、懇親の宴が開かれ和やかなうちに幕となった。

再任に当たりて

会長　伊村隆恵

円高ドル安、株の大暴落、まさに経済の大変動の六十二年後半の世情も余す処一ヶ月余りにて新春をむかえます。

一期三年、ボヤッとしている中に夢の如くに、これということもしないうちに過ぎ去りました。敢て回顧すれば三年前就任早々の年、サッカー部の全国大会への出場であった。この年は奇しくも誰もがさほどの期待をしていなかったのに県大会が、とん／＼拍子に勝ち進み、県下優勝をし、出場権を獲得、島原に惜敗した競技場の試合風景が印象深かった。また鎌田校長の懇望により建学の精神「誠の像」を中庭に建立し創立当時の追憶に浸ったこと、在校生卒業生の同級会の語らいの場である会館の雨もりの修復など、考えてみますと、すべて一万五千の母校を巣立った諸兄の大きな力に支えられての賜であった。私は単に格好だけの会長であったと心から感謝いたしております。

世相の移り変りと共に主役も若返りをして行く事も大切かと考え、任期満了に当り役員の皆様に辞任の意を申し入れました処、たま／＼卒業名簿の作業中に加えてサッカー部の全国大会出場の期待も夢ではないなどの事から再任せよの強いお勧めを載き、誠にその任に非ずと自覚しつゝ皆様方のご支援を頼りに再任の決意をいたしました。惜しむらくは期待のサッカーが十一月十五日東海第一の準決勝戦にて惜敗した事は返すがえすも残念至極でありました。願はくは、今試合を通して深くその敗因を追求し、今後に生かして精進努力をなされ、近き将来に全国制覇し卒業生は勿論藤枝市民の願望に応えて下さることを心から念願しています。

卒業生名簿も只今本刷りの作業、一月には皆様方のお手元へ届くと思います。古い人、若い人を問わず在学の思い、共に学びし友を再回顧して載くべく八頁に亘るカラー写真入の豪華なものが完成します。

つきましては百％の名簿を願って作業に入りましたが、未だ住所不明の諸氏が数多くありますす。幸にして卒業生の中で一人でも消息をご存知の方がありましたら事務局へのご連絡を載ければ有難く存じます。

新春三月は本年も亦、昨年以上の国公立大学の好成績の進学結果が出るものと期待していますす。愈々母校がスポーツ界に、進学に実力を発揮し県下に藤東の名声を高めん事を祈念すると同時に卒業生各位が巣立ちせし学び舎の発展のためにご支援、ご協力下さる事を懇願申し上げます。

（昭六二、十一、二十五）

御挨拶

学校長　森　茂巳

同窓会々員の皆様には全国各地、各界に於きまして益々御活躍なされ、かつご健勝のことお慶び申し上げます。日頃皆様には母校のために有形、無形の御支援を賜わり有難う御座居ます。心より御礼を申し上げます。

今年は大学入試も複数受験が可能となる大幅な改革がありました。従来の形に慣れているため、多くの戸惑いがあり、生徒諸君がよくこれに対応し、例年以上のよい結果が得られました。国公立大学では現役浪人合せて延合格者は県下第二位、現役合格延数は県下第一位の成績でした。現浪延合格数は三年卒業生数を基準とすれば第一位であります。しかし、いわゆる世上いわれている質的な面から見ますとまだまだ第一位、第二位と云ってはいられません。内容的な面での向上が今後の大きな課題と思われますので、数的維持とあわせて質的向上を企る所存であります。私立大学についても、複数受験の影響が出ることが予想されましたが、合格延数やその内容についても例年並みの状態を維持することができました。教職員、生徒共に一層奮励努力して今後の発展を期していきたいと思います。

本校の伝統は、御承知の通り、文武両道であります。特に最近はこの両立が厳しくなってまいりましたが、よき伝統を維持することを責務として鋭意努力して居ります。サッカー部は今年こそはと期して居りましたが、残念ながら、準決勝にて敗れ、諸先輩方の御期待に添うことが出来ず誠に申し訳けなく思って居ります。「サッカーの藤枝東の名を再び全国に」は悲願でありますので早期の捲土重来が当面の目標であります。テニス部と陸上競技部はインハイ、国体に選手を出しました。剣道、柔道、バレー部などは中部地区の上位、バスケット部等の諸部も例年に比してよく健闘し、県大会には十四部中九部が出場し気を吐いて居ります。文化部も、電子部が全国規模での大会に入賞するなどそれぞれ活躍して居ります。

昨今、教育諸問題が世上、紙上を賑わしていますが、本校では単なる知育を目指すのではなく、知、徳、体の調和のとれた心豊かな人間の育成を期し教職員全体で努力して、諸先輩の後に続かせる心積りで居りますので一層の御教示、御叱正、御鞭撻をお願い申し上げます。

終りになりましたが、昭和二年に出来ました講堂ですが、老朽化がはげしく雨漏りや破損も多く、図書館としての機能も十分でないため、新しくすることになりました。来年三月の竣工を目指して取壊し、工事中であります。この講堂には数々の思い出が満ち、風雅な外観と共に誠に惜別の念止み難い面もございますが、何卒御了承の程お願い申し上げます。また、志太中は一学年二学級の計一〇学級規模で初まったのですが、昭和六十三年度より一学年が九学級となり、完成年度は二十七学級となります。量の拡大が質の低下とならないよう心して頑張っていきたいと考えて居ります。

同窓会会務日誌抄

「事務局」

◇昭和六十一年四月十日
○会長・副会長会議
○校長・教頭・事務長歓送迎会
◇七月五日○同窓会役員総会
◇十二月十五日
○会長・副会長会議
議事内容
(1)役員の任期満了について
(2)同窓会名簿発行の件
(3)百年祭のため資料収集の件
(1)の件につき伊村会長より任期満了に伴い辞意の表示があり、各副会長より再任されたいとの懇請の意見多く、その方向で今後話合いを進める。
(2)会員名簿発行について
前回六十周年記念号として発行して五年目に当り、住所変更も多く、来年度を期して改訂発行をしたい旨会長より提案。了解され、業者を前回同様「静岡宛名」に委託。
(3)について。学校新聞・同窓会々報等、適宜収集整理する。
◇昭和六十二年一月三日
三十四回生同期会。
◇三月七日　同窓会長留任懇請のため副会長・森学校長・事務局で伊村会長宅を訪問。承諾を得る。
◇三月二十日　県選抜サッカー韓国遠征のため各二万円を贈り激励す。
◇四月二十日　長池實先生葬儀
◇四月二十六日　十五回生同期会、於焼津、魚兼。伊村会長・海野事務局長出席
◇五月二十日　本部役員会・六十二年度役員総会の日程・議題の原案作成
・本年度の事業について
同窓会館屋根漏りの修復工事
同窓会名簿の発行
○野本・杉本歓送迎会（事務局）
野本寛一先生の県文化課主席指導主事に転出のため杉本修美先生（38回）を迎える。
◇六月七日　三回生同期会、森校長・海野事務局長出席
◇七月四日　同窓会役員総会
◇七月五日　九回生同期会
◇七月二十日　インターハイ（北海道）出場選手に各二万円を贈り激励す。
陸上　中村吉宏（三年）
テニス　禰津　文（二年）
定時制より三名出場
◇七月二十五日　○同窓会館の屋根の修復工事着工、八月十日完成。総工費二三〇万。
◇九月十日　サッカー全日本ジュニアー中国遠征のため二万円を贈り激励。井川剛（二年）
◇十月十日　十九回・二十回生同期会　於本校同窓会館
◇十月二十一日　国体出場選手に各二万円を贈り同窓会長より校長室にて激励
・サッカー　加藤・三上
・バスケット　塚本
・テニス　禰津
◇十一月二十六日　現図書館（旧講堂）解体工事・図書室及び普通教室の新築工事の着工。
◇十一月二十六日　同窓会名簿の最終校正を黒船印刷で行う。
◇昭和六十三年三月二十五日
新図書室・普通教室の竣工予定

本年度は名簿作成のため、役員の方々に多大のご迷惑・ご協力をいただきお詫びと共に厚く感謝・御礼申し上げます。

同窓会基金決算及び事業について

昭和61年度――募金なお継続事業に

昭和52年2月、同窓会臨時総会において決議され、5ヶ年計画のもとに進められてきた同窓会基金募金活動は、会員各位の深いご理解とご協力により、2,052万7千円に達しました。この基金の利息を運用して、母校の部活振興に役立たせていただいております。紙面をかりて御礼申し上げます。

◆昭和61年度同窓会特別会計（基金利息）決算

◎基金総額	20,527,000円
歳入予算額	3,246,521円
歳出予算額	3,246,521円
歳入決算額	3,209,783円
歳出決算額	330,000円
歳入歳出差引残高	2,879,783円
歳入の部（決算のみ）	
○繰越金	2,216,521円
○利息収入	993,262円
○　計	3,209,783円
歳出の部	
○運動部後援費	100,000円
○全国大会出場補助費	
インターハイ陸上1名	20,000円
国体サッカー1名バスケット1名	40,000円
○部活動強化助成金	
東海大会陸上	10,000円
韓国遠征サッカー8名	160,000円
計	330,000円

寄附
◇第19回・20回同窓会より基金へ10,000円
◇藤枝・焼津歯科医師会より名簿広告料の余剰分を基金へ　30,000円

今後も、募金活動はなお継続いたしますので、同級会、同期会等の折りにご鳳声賜わり、ご協力のほどお願い致します。

◆基金募金送付先
藤枝市東高校同窓会事務局
TEL〈0546-41-1680〉
係、海野、鈴木貞宛にお電話いただければ幸甚に存じます。